

## はじめての学会参加と発表に備えて

日本歯科技工学会 近畿支部



錦織 良

---

近年、歯科医療技術は日々大きく変化している。歯科技工において、高品質な仕事内容、患者に対する貢献、またそれらを維持するために必要な利益を目指すためには、新技術の情報収集と習得が必要である。学術論文、学術大会、および講習会等での情報収集だけでなく、場合によっては自社や自身の持つ新技術を内外へ発信する必要性が増加することが予想される。特に経験の浅い歯科技工士(以下、DT)にとって、新技術などの情報に触れることは非常に重要である。そこで学会等への参加や発表に関して経験の浅いDTを対象に、①学会に参加する目的、②発表の準備をする上でのルール、③表現方法等の基本的な内容を解説する。卒業後間もない若いDTをはじめ卒業プレゼンを控えている学生も対象とし、多くのDTが発表に興味を持つきっかけ作りと、自社の営業プレゼンへの応用の参考例として聴いていただける内容を予定している。

---

### 【略歴】

- 1991年3月 広島大学歯学部附属歯科技工士学校 卒業
- 2009年3月 広島大学大学院医歯薬学総合研究科創生医科学専攻博士課程 修了
- 2017年4月 大阪歯科大学医療保健学部口腔工学科 講師（現在に至る）
- 2017年4月 日本歯科技工学会近畿支部役員（現在に至る）
- 2018年4月 大阪歯科大学大学院医療保健学研究科 講師（現在に至る）